

編集後記

今号の特集「始原天体研究のこれまでとこれから：探査を仲介とした異分野交流」のゲストエディターを務めさせて頂きました中村良介です。はるかな昔に編集幹事を担当していたこともあるのですが、往事の記憶は完全に失われている上に編集環境もすっかり様変わりしており、田中編集長はじめ関係者の皆様には御世話になりどおでした。本当にありがとうございます。

昨年、衝突研究会に続く学会内の分野横断的な活動として、小天体探査研究会が立ち上がりました。キックオフとして11月20日に東大総合博物館で開催された第6回始原天体研究会には、30人あまりの方々が参加してくれました。比較的小規模だったおかげで、地上観測・宇宙望遠鏡観測・その場探査・物質分析といった様々な分野の研究者が、納得のいくまで議論のできる場になりました。今号の特集に掲載されております藪田さん・竹内さんの記事から、その雰囲気の一部

を感じ取って頂ければ幸いです。次回以降は、太陽系形成論・衝突実験・流星観測をしている方々にも参加をよびかけ、今後の小天体探査に向けた分野交流の場として定着させたいと考えています。

「はやぶさ」が無事に戻ってくるかどうか、まだまだ予断は許されない状況ですが、探査機の帰還およびサンプルの回収に向けた関係者の準備は粛々とすすめられています。内之浦からM-Vで旅だってから早7年、2005年のイトカワとのランデブーから数えてもすでに5年が経っています。無事にサンプルを入手できれば、その分析結果を地上+その場のリモートセンシングデータと総合的に解釈することで、我々の太陽系始原物質に関する理解は新たな段階へと踏み込むことになるでしょう。6月にはオーストラリアに出かけて、はやぶさの帰還を見届けたいと思っています。

(中村 良介)

編集委員

田中 秀和 [編集長] 国広 卓也 [編集幹事]

はしもと じょーじ、倉本 圭、渡部 潤一、生駒 大洋、山本 聡、奥地 拓生、秋山 演亮、小高 正嗣、渡部 直樹、城野 信一、小久保 英一郎、杉田 精司、白石 浩章、木村 勇氣、岡崎 隆司、和田 浩二、本田 親寿

2010年3月25日発行

日本惑星科学会誌 遊・星・人 第19巻 第1号

定 価 一部 1,750円(送料含む)

編集人 田中 秀和(日本惑星科学会編集専門委員会委員長)

〒060-0819 札幌市北区北19条西8丁目 北海道大学低温科学研究所

印刷所 〒501-0476 岐阜県本巣市海老A&A日本印刷株式会社

発行所 〒107-0052 東京都港区赤坂2-18-14赤坂STビル2階

株式会社イーサイド登録センター内日本惑星科学会

e-mail : staff@wakusei.jp

TEL : 03-3585-8161/FAX : 03-3585-8162

(連絡はできる限り電子メールをお使いいただきますようご協力お願いいたします)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は日本惑星科学会が所有しています。

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を個人的な使用の目的以外で複写したい方は、著作権者から複写等の行使の依託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接日本惑星科学会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル学術著作権協会

TEL : 03-3475-5618, Fax : 03-3475-5619

E-mail : kammori@msh.biglobe.ne.jp